

□ 後期研修プログラムについて

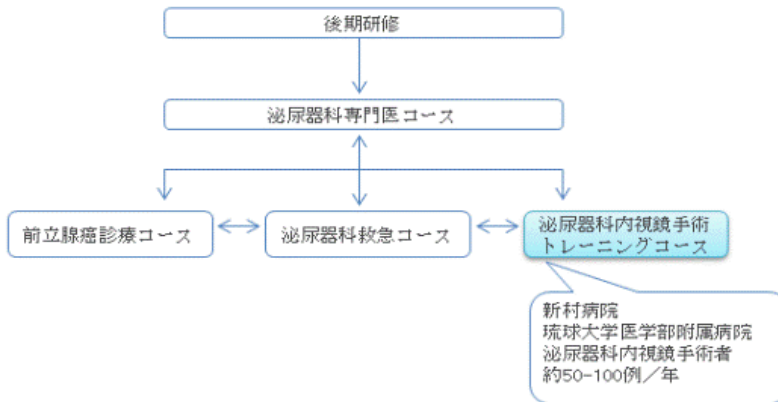
■ 泌尿器科内視鏡手術トレーニングコース

<コースの全体像>

経尿道的内視鏡手術は泌尿器科独特の手術法であり、対象疾患は前立腺肥大症、膀胱腫瘍、尿路結石症、日常診療において稀でない疾患であるため、その習得は泌尿器科医として必須である。

本コースでは、関連病院にて経尿道的内視鏡手術の術者を多数経験することにより、本手術の基本手技の修得、手術手技の向上、術後管理の修得を目指す。

泌尿器科の基本手技を学んだ後の卒後4-6年目で、専門医を目指す過程の医師を対象とするが、専門医取得後さらに手術手技の向上を目指す7年目以降の医師の参加も可能である。



2) コースの概要

コース名: 泌尿器内視鏡手術トレーニングコース						
大学病院・医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成(受入)人数	期間
新村病院	泌尿器科	泌尿器科	2名	経尿道的内視鏡手術手技の修得	3名	1~2年
琉球大学医学部附属病院	泌尿器科	泌尿器科	2名	経尿道的内視鏡手術手技の修得	3名	1~2年
受入人数					3名	

(3) コースの実績

上記関連病院は一民間病院であるが経尿道的内視鏡手術、特に経尿道的前立腺切除術の件数では日本でも有数の症例数を誇る病院(平成18年528例)であり、九州全土から患者が集まっている。本申請担当大学とは20年来の人的交流があり、これまでも若手医師を派遣し、上記関連病院において術者を務めることにより、手術手技向上を図ってきた。経験できる症例数は、経尿道的前立腺切除術の術者として50-100例/年である。

(4) コースの指導状況

上記関連病院は日本泌尿器科学会認定教育施設であり、2名の学会指導医が常勤医として、若手医師の指導を行っている。本申請大学以外にも、鹿児島大学、宮崎大学からの若手医師を受け入れており、指導体制は高い評価を得ている。

(5) 専門医の取得等

学会等名	日本泌尿器科学会
資格名	日本泌尿器科学会専門医、指導医
資格要件	専門医(会員歴5年以上、その他実績) 指導医(会員歴10年以上、その他実績)
学会の連携等の概要	日本泌尿器科学会認定教育施設である